

任務を構成する事業評価

No.	29	担当課	こども政策課(幼児教育課)
-----	----	-----	---------------

1.任務目的

任務目的	幼児期における教育・保育の充実を図り、安心できる子育て環境をつくる
------	-----------------------------------

2.任務概要

任務概要	多様化する保育ニーズに対応するため、認定こども園化、地域型保育事業の導入促進及び保育士確保により待機児童対策を行う。また、安心して子育てができる環境整備に努める。
任務の総括	待機児童の解消に向け、認定こども園化や小規模保育事業の開始を進め、平成30年度64人の定員確保に努めた。結果として、国の待機児童解消につなげた。

3.任務目的を構成する事業

事業名(中分類)	認定こども園化事業	予算事業番号 (予算事業名)	103087(小笠地域園舎再編整備事業) 110182(小笠地域園舎再編整備事業)
事業(中分類)概要	市内保育所等の認定こども園化による柔軟な受入れと定員確保。		
取組内容・結果等(D)	平成30年度は、H31.4.1開園に向け3箇所認定こども園化。		
課題・問題点等(C)	将来の少子化に向けて、園を運営する法人の経営を安定させていく必要がある。		
今後の方向性(A)	将来を見据え、1法人2園化を模索し、必要に応じて検討を進めていただくよう法人に問題提起していく。		

事業名(中分類)	地域型保育事業	予算事業番号 (予算事業名)	103062(地域型保育施設整備事業)
事業(中分類)概要	地域型保育事業(小規模保育事業等)の導入による0歳～2歳児の定員確保。		
取組内容・結果等(D)	市外の社会福祉法人による市内参入により、小規模保育事業所1園を開園。		
課題・問題点等(C)	3歳～5歳児を受け入れる連携施設の確保に努める必要がある。また、市内法人を中心に小規模保育事業の開始を依頼し保育定員の確保に努める必要がある。		
今後の方向性(A)	市内法人を中心に、連携施設と小規模保育事業の実施を依頼していく。		

事業名(中分類)	保育士不足の解消	予算事業番号 (予算事業名)	
事業(中分類)概要	大学等の訪問による求人情報の周知と保育ニーズの把握。		
取組内容・結果等(D)	大学訪問等を行い、市内民間保育所の求人情報の周知や学生のニーズの把握努め、保育士確保につなげる取組みを行った。		
課題・問題点等(C)	安心できる子育て環境をつくるため、新採保育士の確保と併せ、潜在保育士の確保に努める必要がある。		
今後の方向性(A)	既存の保育士登録制度を再構築し、登録者数を増やし、保育士の活躍する機会を再構築する。保育士や運営法人(幼児施設)にとって有益な制度となるよう努める。		

事業管理シート(任務目的)

任務目的	幼児期における教育・保育の充実を図り、安心できる子育て環境をつくる		
事業名(中分類)	冠水対策事業	予算事業番号 (予算事業名)	
事業(中分類)概要	防災ステーションの建設事業と併せ緊急避難路の確保と周知に努める。		
取組内容・結果等(D)	防災ステーションの建設の計画に合わせ、必要な対応を図る。 おおぞら認定こども園の緊急避難経路を園児・保護者・職員等が共有し、緊急時に慌てることのないよう必要な訓練を重ねる。		
課題・問題点等(C)	年度が変われば、園児・保護者・職員等も変わっていくので、繰り返し訓練を行う必要がある。		
今後の方向性(A)	定期的な訓練に加え、日々の散歩時等でも避難経路の再認識に努め、各自の意識を高めていく。		